



参考資料

東北大学ビジョン2030 記者会見

最先端の創造、大変革への挑戦 「社会とともにある大学」としての東北大学

2018年 11月 27日

東北大学総長 大野 英男





Vision 1 教育

学生の挑戦心に応え、創造力を伸ばす教育を展開することにより、大変革時代の社会を世界的視野で力強く先導するリーダーを育成します

重点戦略	主要施策
重点戦略① 社会の転換期を生きる学生の創造力を伸ばす教育の展開	1. 未来社会に立ち向かうための基盤となる学士課程教育の新構築 2. あらゆる境界を越え、創造的で活力ある研究者・高度専門人材を育成する大学院教育の展開 3. パーソナライズドラーニングをはじめとする先進的ICT教育の推進 4. エビデンスに裏付けられた新たなアドミッションの展開 5. 豊かな経験を通じた、人格形成を促す課外活動・社会貢献活動の充実
重点戦略② 社会とともにある大学としての教育の新展開	6. 卓越した研究を基盤とした産学共創教育の展開 7. 社会人の学び直しの機会を提供する新たなリカレント教育の展開
重点戦略③ 国際共修キャンパスの創造	8. 世界から学生を惹きつける最先端の国際プログラムの開発・提供 9. オープンでボーダレスなキャンパスにおける国際共修の展開 10. 卓越した研究を基盤とした国際共同教育の深化
重点戦略④ 包括的学生支援の展開	11. 様々な背景を持つ学生が安心して、ともに学ぶインクルーシブな環境の提供 12. 学生へのキャリア支援・経済支援の充実



THE
世界大学ランキング
日本版

第3位

朝日新聞
大学ランキング
高校からの評価 総合評価

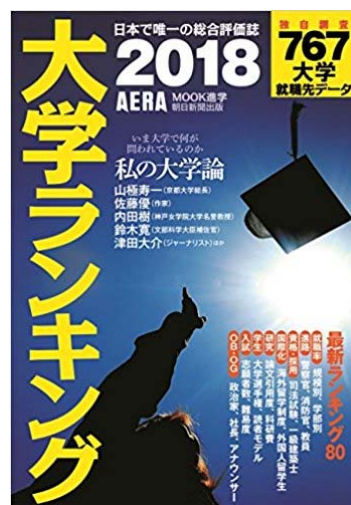
第1位

就職四季報
プラスワン
生徒を伸ばしてくれる大学

第1位

2017年

2006～2016年まで
11年連続 1位



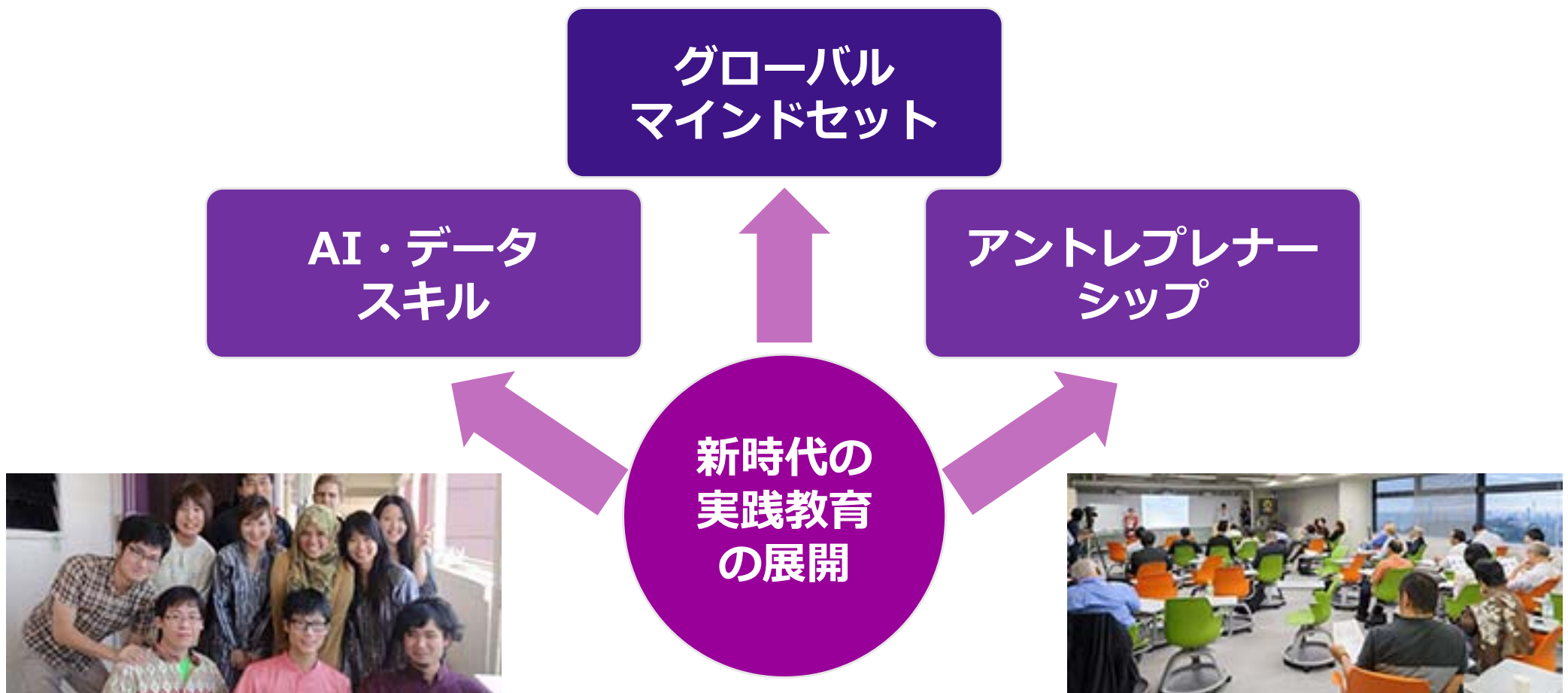
日経
カレッジカフェ
人事が採用したい大学

第1位

2018年

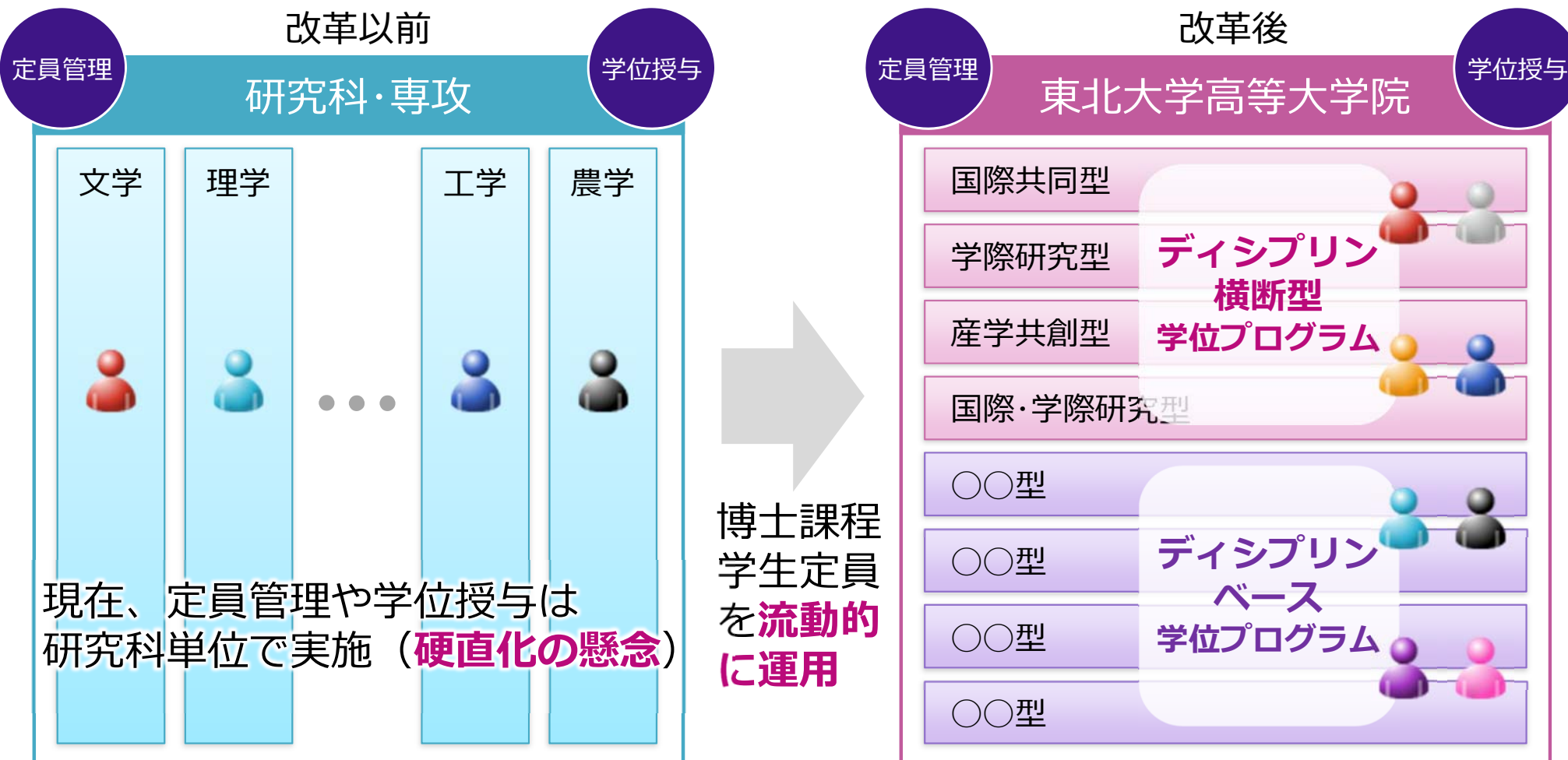


- 変革期に生きる学生のための新たな全学教育プログラムとして、
「東北大学挑創カレッジ」を2019年度より開講
- 時代が要請する①グローバルマインドセット、②AI・データスキル、
③アントレプレナーシップを身に付けるための実践教育を展開
- 学生の「挑戦する心」に応え、大きく伸ばすプログラムを開発





- すべての大学院教育プログラムを学位プログラムへ進化
- 学位プログラム全体を管轄する組織として「東北大学高等大学院」を創設



国際共同大学院プログラム 海外有力大学との強い連携のもと共同教育を実践することによりグローバルに活躍する人材を育成
リーディングプログラム 第一級の教員・学生を結集し、俯瞰力と独創力を備え広く産学官にわたり活躍するリーダーを育成
卓越大学院プログラム 民間企業等と連携し、社会にイノベーションをもたらす高度な「知のプロフェッショナル」を育成

「未来型医療創造」と「人工知能エレクトロニクス」が2019年度よりスタート
文科省事業「卓越大学院プログラム」、東北大学は採択件数全国1位（全国で15件採択）



AO入試

- 現在、**国立大学最大規模のAO入試**をさらに拡大し、多面的・総合的に評価する入試を強化

2017年度入試	2018年度入試	2019年度入試	2021年度入試
20%	21%	24%	30%（目標）

- 入試センターの機能強化
 - ✓ 2016～2017年度に数学・物理・化学・英語担当の特任教員（高校教員出身者）を採用し、全学支援体制を強化
- 入学者追跡調査によりAO入学者のGPAが高いことを検証

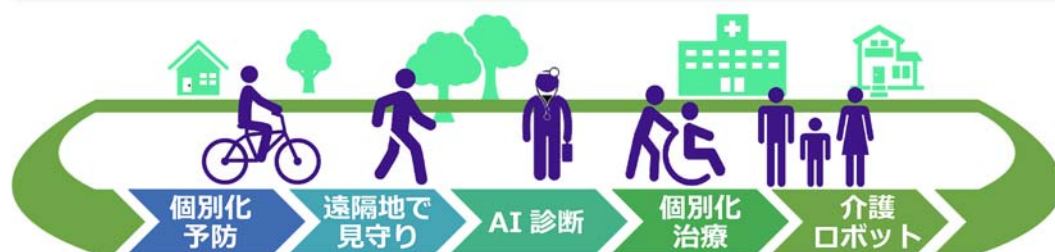
特別入試

- 科学オリンピック入試（2011年度入試～）、帰国生徒入試（1985年度入試～）、私費外国人留学生入試（1979年度入試～）、国際学士コース入試（2011年度入試～）
- 新たに**グローバル入試**および**国際バカロレア入試**を実施（2017年度入試～）



未来型医療創造

未来型医療：データ（Data）と技術（Technology）を駆使して
未来社会（Society）の課題解決に寄与する医療・福祉



文理融合・学際的教育

Data Science コース

データに基づく
高齢者の慢
性疾患に対す
る先鋭的な予
防・診断・治
療法の開発

Technology コース

全人的に生活
をサポートす
るツールの開
発

Societyコース

高齢者の医
療・福祉の関
連経費を抑制
できる効率的
かつ包括的な
社会システム
の構築

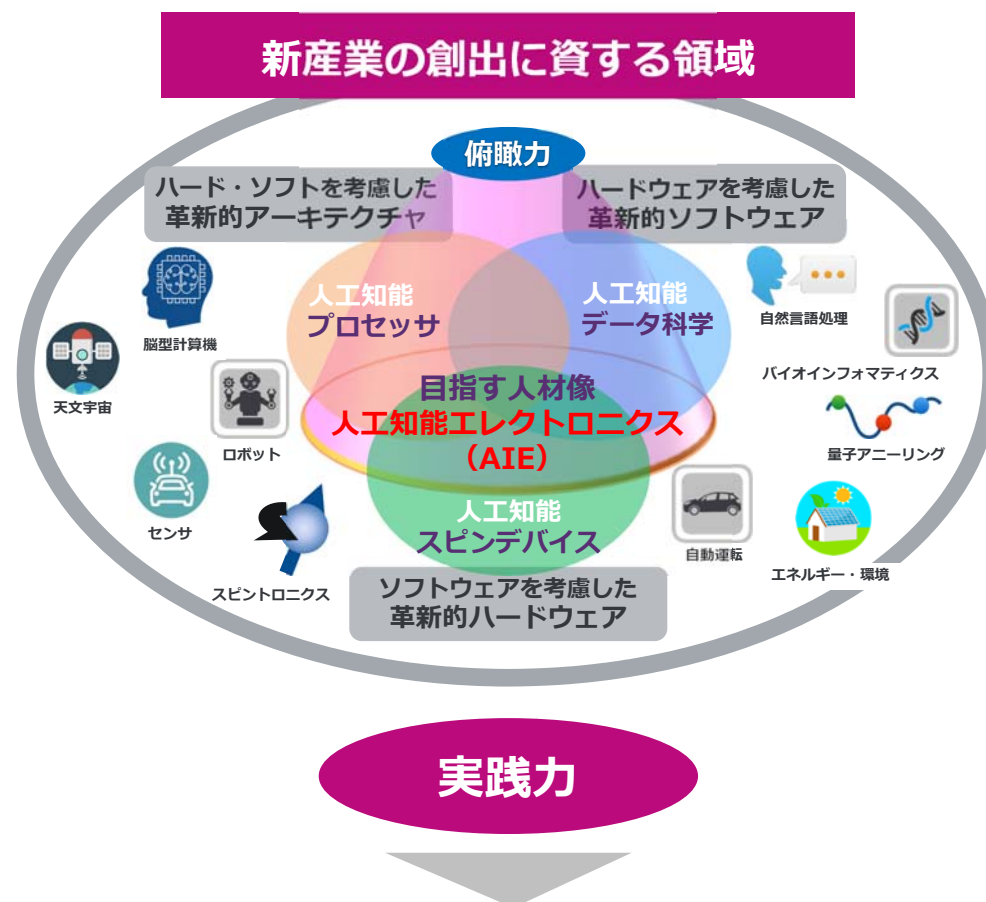
所属研究科

医・歯・薬・生命・情報 工・情報・医・歯 経済・文・医・歯

データ医薬・生物科学・情報科学 工学・医工学 心理学・経済学・公衆衛生学

人工知能エレクトロニクス

異分野技術を取り込み「**継続的イノベーション**」
を起こすことができる卓越した人材



産学連携・社会連携を意識した
新たな産学協働による大学教育



- 国際混住型学生寄宿舍「ユニバーシティ・ハウス」の戦略的整備による国際共修の推進
- 「ユニバーシティ・ハウス青葉山」の新営
(2018年10月入居開始、総定員752人)
 - ✓ 国内最大規模 1,720人定員へ
= 日本人 921人 + 外国人 799人

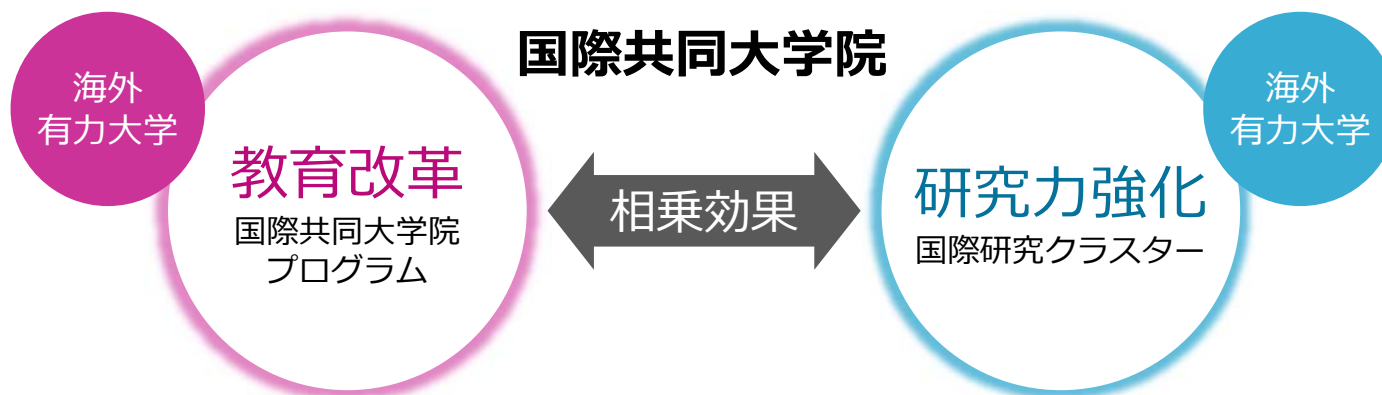
国際感覚の
育成

協調性と
社交性の涵養



ユニバーシティ・ハウス青葉山

- 総定員752人（日本人376人、外国人376人）
- 自然豊かな修学環境と交通利便性
- 国際性豊かな高度教養人として成長するための各種プログラムを实践（産学連携による特別講義など）



- 研究科の枠を超えて東北大学の英知を結集
- 海外有力大学との強い連携のもと共同教育を実践
- 参加学生の奨学金と海外渡航費を支援する国際共同学位取得支援制度を創設

世界十指に入る学問領域の拡大

東北大学の強みを活かし世界を牽引できる分野

スピントロニクス

2015～



環境・地球科学

2016～



宇宙創成物理学

2017～



機械科学技術

2018～



材料科学

2019～



新学問領域への挑戦

今後重要になり人類の発展に貢献できる分野

データ科学

2017～



生命科学

2018～



災害科学

2019～



日本学

2019～



海外有力大学との**国際共同大学院**を4年以内に10以上設置



本学独自の給付型奨学金

グローバル萩博士学生奨学金を創設（2018年度）

全ての博士課程学生に経済的支援

博士課程学生への経済支援策

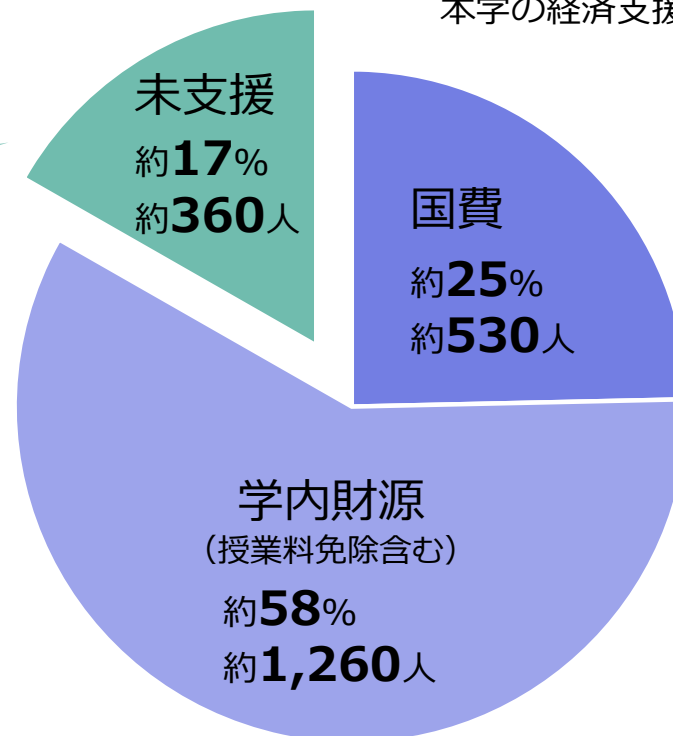


グローバル萩博士学生奨学金

未支援となっている博士課程学生約360人へ授業料相当額の給付型奨学金を創設

2018年 支給実績：約300名

財源別に見た
本学の経済支援状況



(2016年度経済支援状況調査)



Vision 2 研究

世界三十傑大学にふさわしい総合研究大学として、卓越した学術研究を通して知を創造するとともに、新たな学問領域の開拓とイノベーション創出を力強く推進します

重点戦略	主要施策
重点戦略⑤ 未来の価値創造への挑戦	13. 自由な発想に基づく基礎研究の推進および新興・分野融合研究の開拓 14. 世界トップレベル研究の推進 15. 世界の学術におけるフロンティア領域の開拓・先導 16. 持続可能で豊かな未来社会の実現に向けた社会課題解決への挑戦
重点戦略⑥ 世界三十傑大学にふさわしい研究システム変革	17. 「高等研究機構」を頂点とした横断的分野融合研究を戦略的に推進するための三階層「研究イノベーションシステム」の構築 18. 大型研究施設等を積極的に活用した戦略的研究連携の推進 19. 社会システムを構想・提案し、政策科学を先導するシンクタンク機能の強化 20. 文化・学術資源の世界発信と人文系研究分野の国際拠点化
重点戦略⑦ 次代を担う卓越した若き才能の育成・支援	21. 独創性豊かな若手研究者を世界各地から惹きつける場の創出
重点戦略⑧ 卓越した学術研究を追求するための環境基盤の整備・充実	22. ダイバーシティの推進による開かれた研究環境の整備 23. サバティカル制度等の戦略的活用による頭脳循環の促進 24. 多様な研究力を引き出す研究支援機能の充実・強化



研究論文に着目した 日本の大学ベンチマーキング 被引用数の国内大学ランキング

材料科学
第**1**位

地球科学
第**2**位

神経科学・行動学
第**3**位

物理学
第**3**位

薬学・毒性学
第**3**位

※ 科学技術・学術政策研究所（NISTEP）
「研究論文に着目した日本の大学ベンチマーキング2015」より大学のみを
抜粋し、東北大学が上位3位以内に入
る分野を掲載

2017年度 科学研究費補助金 新規採択件数

第**3**位

全細目数 351

科学研究費補助金 採択件数上位実績 1位の細目の例

- 金属物性・材料 第**1**位
- 電子デバイス・電子機器 第**1**位
- 機械材料・材料力学 第**1**位
- 計算機システム 第**1**位
- 無機材料・物性 第**1**位
- 地球・資源システム 第**1**位
- 化学系薬学 第**1**位

ほか全23細目

※ 文部科学省「平成29年度科学研究費助成事業の配分について」
細目別採択件数（過去5年の新規採択の累計数）による順位

科学研究費補助金 採択件数上位実績 人文社会系の細目の例

- 英語学 第**1**位
- 経済学説・経済思想 第**1**位
- 教育心理学 第**1**位
- 英米・英語圏文学 第**3**位
- 宗教学 第**3**位
- ヨーロッパ史・アメリカ史 第**3**位
- 中国哲学・印度哲学・仏教学 第**3**位
- 思想史 第**3**位

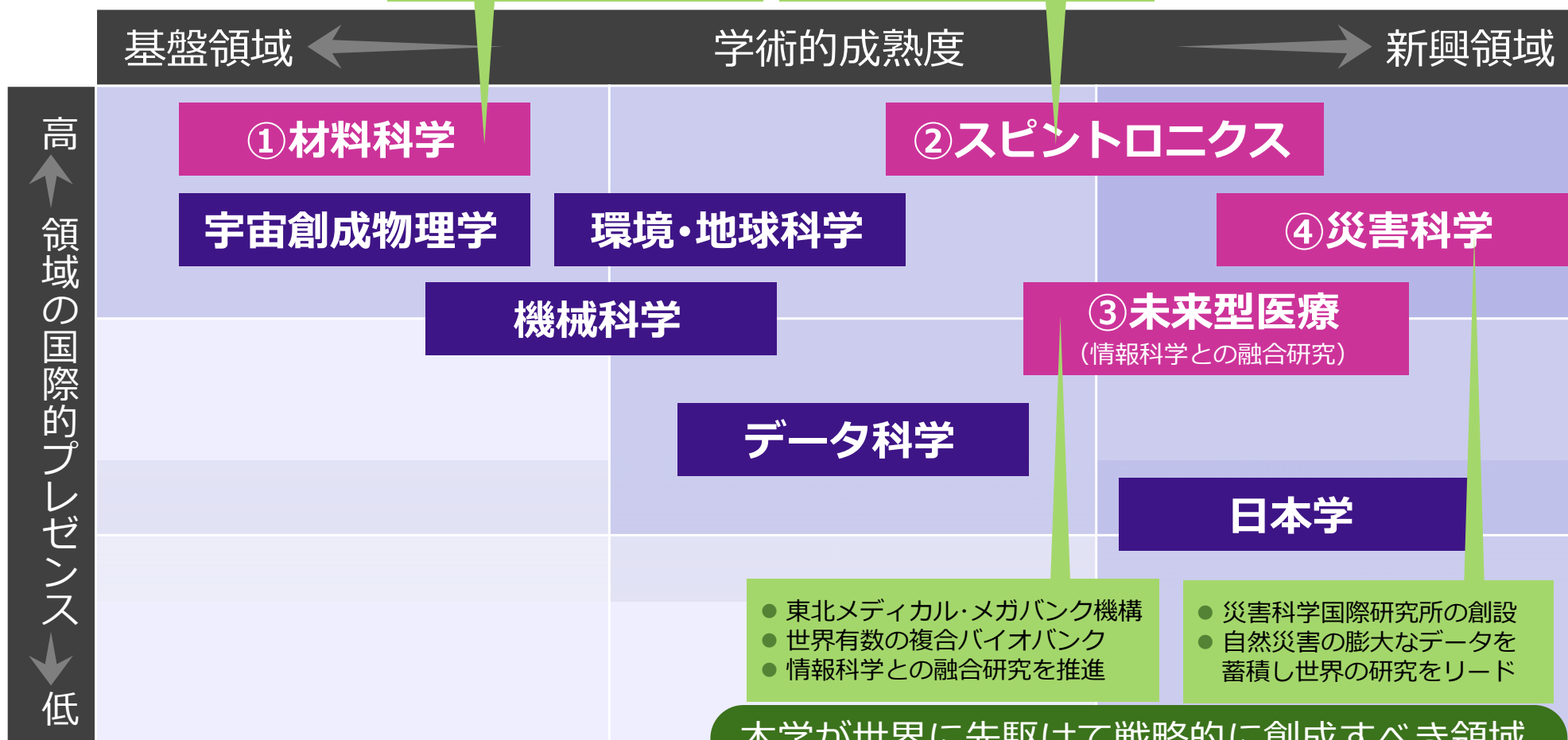


- 世界トップレベル研究拠点として4領域を選定し重点的に整備
- 本学が強みを有するその他5領域を加えた9領域に国際研究クラスターを創設

すでに世界最高のポテンシャルを有する領域

- 本学が伝統的に強い学術分野
- 圧倒的な研究者層の厚み
- 異分野との融合研究を展開

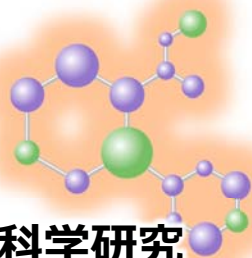
- 磁性半導体やスピン流などの基礎研究から応用研究まで
- 世界のパイオニアとして認知



本学が世界に先駆けて戦略的に創成すべき領域



材料科学



AIMR、金属材料研究所、多元物質科学研究所等を中心とした卓越した研究成果により「材料科学」の主要分野で世界をリード

- 世界最大規模の研究者群：約400名体制
- Top1%論文55編、Top10%論文436編（2006-2016）
- 国際共著論文比率：55.7%（AIMR）ほか
- 次世代放射光施設（本年7月決定）の活用

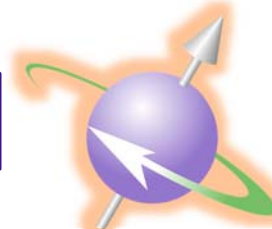
未来型医療



東北メディカル・メガバンク機構による世界初の大規模3世代コホート調査の展開と未来型医療への貢献

- 出生3世代コホート約7万人
- 地域住民コホート約8万人
- 15万人規模のゲノム・オミックス情報を保有し、HPCによる大規模解析を実現
- 個別化医療、個別化予防の研究展開

スピントロニクス



世界のスピントロニクス研究を名実ともに先導し、集積エレクトロニクスの未来を拓く国内外産学連携を推進

- 関連分野論文総数304編（世界3,555編）
- Top1%論文64編（世界トップと並ぶ4.1%）
- スピントロニクス分野において出願人別特許件数(79件)は学術機関の世界1位

災害科学



文理を融合させた新たな学際研究領域として、「災害科学」を世界に先駆けて開拓するとともに、東日本大震災の経験を世界発信

- 論文総数（2014-2017）：災害科学（世界2位）、津波関係（世界1位）、災害医療（世界1位）、災害教育（世界1位）
- 国連開発計画(UNDP)と連携し、災害統計グローバルセンターを2015年4月に設置



「高等研究機構」を頂点とした三階層「研究イノベーションシステム」の構築

目的

- 戦略的な研究拠点形成の加速
- 横断的分野融合研究の推進





整備費用の概算総額:約360億円程度
(想定される国の分担:最大約200億円程度)

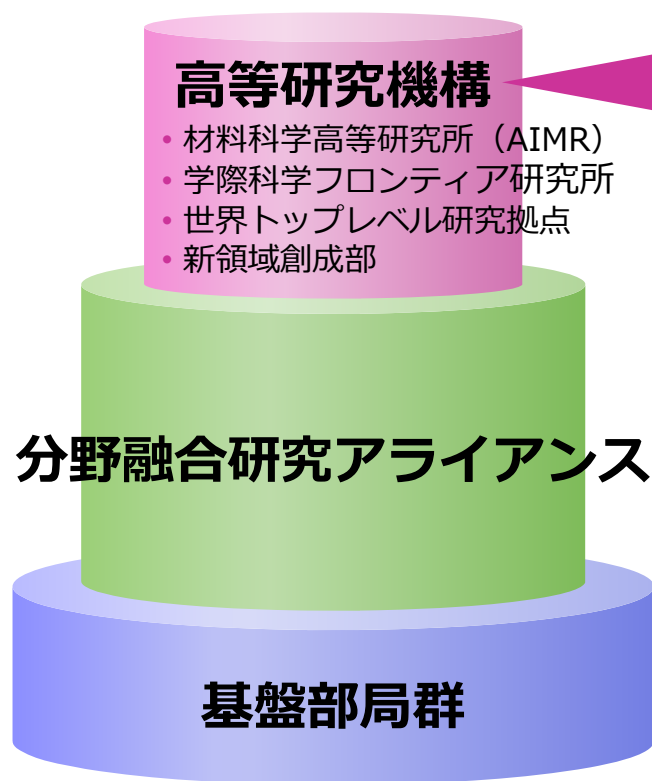
次世代放射光施設に係る文科省発表 (2018年7月3日)

- 官民地域パートナーシップによる次世代放射光施設の推進に関し、一般財団法人光科学イノベーションセンターを代表機関とする、同財団、宮城県、仙台市、国立大学法人東北大学、及び一般社団法人東北経済連合会をパートナーとして選定
- 次世代放射光施設の整備・運用の検討を進める国の主体である量研とパートナーとの間で、同施設の整備・運用に関する詳細を具体化するための検討・調整を開始



総長のリーダーシップにより高等研究機構に

若手研究者を約200人規模で配置



● 材料科学高等研究所 (AIMR)

$\frac{37}{50}$ 人

$\frac{38}{50}$

● 学際科学フロンティア研究所

$\frac{52}{60}$ 人

$\frac{55}{60}$

● 世界トップレベル研究拠点

$\frac{0}{60}$ 人

$\frac{14}{60}$

● 新領域創成部

$\frac{0}{30}$ 人

$\frac{2}{30}$

$\frac{89}{200}$

2017.5
現在

$\frac{109}{200}$

2018.5
現在

2018年9月18日 プレスリリース
・ 世界の若手研究者の活躍機会創出のため50名規模の東北大学デニュアトラック制度を創設



女性研究者や外国人研究者の採用を促進し、ワークライフバランスに配慮した多様で柔軟な研究活動を可能とする環境を整備

女性研究者の採用促進・共同参画支援

- ✓ 女性研究者の採用促進や共同参画支援等（総長裁量経費：2億円）
- ✓ 国立大学最大規模の総定員数（250名）を誇る学内保育所

病院事業所内保育所



篤志家からの動産・不動産の遺贈を受け事業所内保育所を2018年4月に開所

第3学内保育所（青葉山新キャンパス）



本学独自の財源により、2018年4月に青葉山みどり保育園を開所

外国人研究者の採用促進・研究環境整備

- ✓ 外国人研究者の採用促進等（総長裁量経費：1億円）
- ✓ 東北インターナショナルスクールとの提携により、外国人研究者の子供に係る入学金・授業料免除の優遇措置を受けることができる



Vision 3 社会との共創 (Co-Creation)

社会とともにある大学として、多様なセクターとのパートナーシップのもと、新たな社会価値を創造し、未来を拓く変革を先導します

Vision 3 – 1 産学共創

Vision 3 – 2 社会連携

Vision 3 – 1 産学共創

重点戦略	主要施策
重点戦略⑨ 東北大学独自の戦略的産学共創の展開	25. 戦略的産学共創の展開① 「ビジョン共創型パートナーシップ」に基づく「組織」対「組織」による大型の産学共創の加速 26. 戦略的産学共創の展開② 東北大学流オープンイノベーションの戦略的展開 27. 戦略的産学共創の展開③ 次世代放射光施設を活用した科学技術イノベーション創生 28. 戦略的産学共創の展開④ 日本の枠を越えた産学共創のグローバル展開 29. 戦略的産学共創の展開⑤ 地域イノベーションの加速的推進
重点戦略⑩ 東北大学発ベンチャーの創出と次世代アントレプレナーの育成	30. 東北大学発ベンチャー創出の加速 31. グローバルに通用するアントレプレナー（起業家）の育成・支援
重点戦略⑪ 本学の戦略的産学共創を支える抜本的機能強化	32. 産学共創ポリシーに基づく強化戦略の実行 33. アンダー・ワン・ループ型産学連携拠点（産学共創スクエア）の構築 34. 知的財産創出、技術移転、事業化に至る一気通貫の知的財産マネジメント機能の強化 35. 戦略的産学連携経費の創出 36. リニアモデルにとらわれない新たなイノベーション創出体制の構築



外国企業との
共同研究費受入額

第 **1** 位

ランニングロイヤリティ
収入があった特許権数

第 **1** 位

民間企業との
共同研究費受入額

第 **4** 位

大学発
ベンチャー企業数

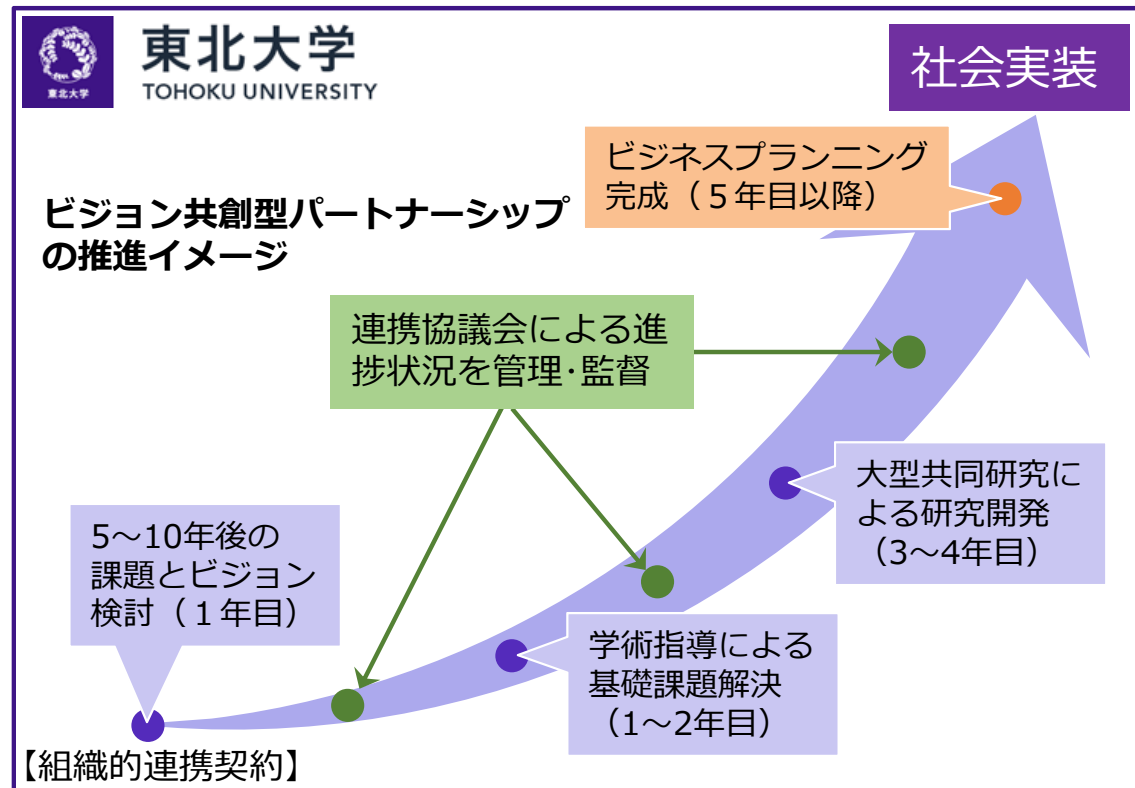
第 **3** 位

※出典
2017年度大学等における
産学連携等実施状況について（文部科学省）

※出典
特別企画：大学発ベンチャー企業の実態調査
2018年2月23日(株)帝国データバンク



大学と企業の経営層が将来のビジョンを共創・共有し、 「組織」対「組織」の連携による大型共同研究を推進



ビジョン共創型パートナーシップ 組織的連携契約締結企業（2018年6月現在）

情報通信分野

NTT・NTT東日本

材料分野

JFEスチール

新日鐵住金

住友金属鉱山

アルプス電気

原子力分野

日立

観光分野

JR東日本



国際集積エレクトロニクス研究開発センター（CIES）

革新的AI・IoT超低消費電力化技術

40兆円規模の全世界半導体市場にインパクト → 東北大学が世界を先導

- 民間共同研究費と競争的資金等による自立経営
外部資金のみで**約15億円**の運営資金を確保

- 世界最大規模の産学コンソーシアムを構築
川上から川下まで約20社がエコシステム形成

- 国内初の100%民間拠出による
サイエンスパーク型産学連携
拠点



2012年10月設置

約30億円の先端研究施設の寄附



試作されたSTT-MRAM 第1号

ハード

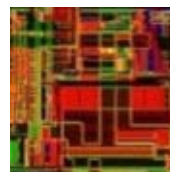
ソフト

ミッション&ビジョン

- 国際産学連携拠点の構築
- 次世代集積エレクトロニクス
に資する革新的技術の開発

コア技術

- 材料（川上）からシステム（川下）まで
大学の革新的コア技術を統合



平成28年度産学官連携功労者表彰
「内閣総理大臣賞」受賞

CIESの先行事例を基盤として、**未来型医療**、**材料科学**など複数分野に
自立型産学連携拠点を形成（2030年までに民間共同研究費を5倍に）



B-U-B（Business-University-Business）型連携

大学を核として、異分野の多企業が参画するイノベーションエコシステム形成型産学連携モデル

- 従来の産学連携は、主として個別企業と個別研究者との小規模な共同研究が中心
- スピントロニクス分野のオープンイノベーション拠点「東北大学国際集積エレクトロニクス研究開発センター（CIES）」は、独自に発案したB-U-B型連携により世界に先駆けた実績
- この先進モデルをライフサイエンス分野、マテリアルサイエンス分野等へ戦略的に展開したい



「東北大学オープンイノベーション戦略機構」の創設（2018年12月活動開始）

川上から川下までの約20社による
イノベーションエコシステム形成

米国半導体関連企業との連携
外国との共同研究費受入額 第1位



約30億円の先端研究施設の民間寄附



大学が生み出す世界トップレベルの研究

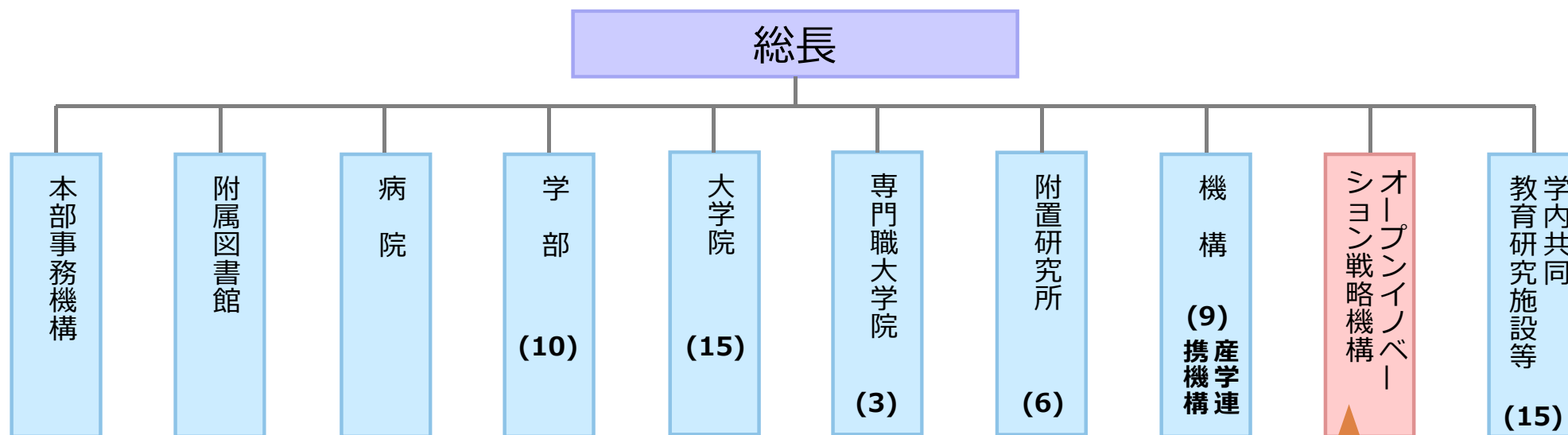
- 世界に先駆けたスピントロニクスの開拓
- 革新的な不揮発メモリ素子の発明
- 新たな超低消費電力化技術の開発

国・自治体と連携した税制特区制度

- 民間投資促進特区（情報サービス関連産業）制度による法人税の減免
- 先端研究機器への固定資産税等相当額の助成



- **総長直下に設置**し、オープンイノベーションに係る予算・執行管理、資産管理、人事、共同研究契約、機密保持契約、知的財産管理、利益相反マネジメント等の管理権限を機構に付与
- **全学的な決定権を有するプロボスト**を機構長に配置、機動的なトップセールスを実現
- **民間からプロフェッショナル人材（クリエイティブ・マネージャー）を採用**し、自立的・一体的で迅速な意思決定による経営と先駆的な取り組みが可能な体制を確立



ライフ分野（二の矢）

- ・ 医薬品開発プロジェクト
- ・ 医療機器開発プロジェクト
- ・ ライフスタイル共創技術プロジェクト

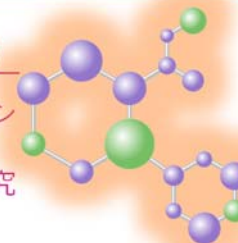


機構長（プロボスト）

統括クリエイティブ・マネージャー

マテリアル分野（三の矢）

- ・ 電極配線材料イノベーションプロジェクト
- ・ 先進鉄鋼材料・プロセス研究開発プロジェクト



知財・法務
クリエイティブ・
マネージャー

財務
クリエイティブ・
マネージャー

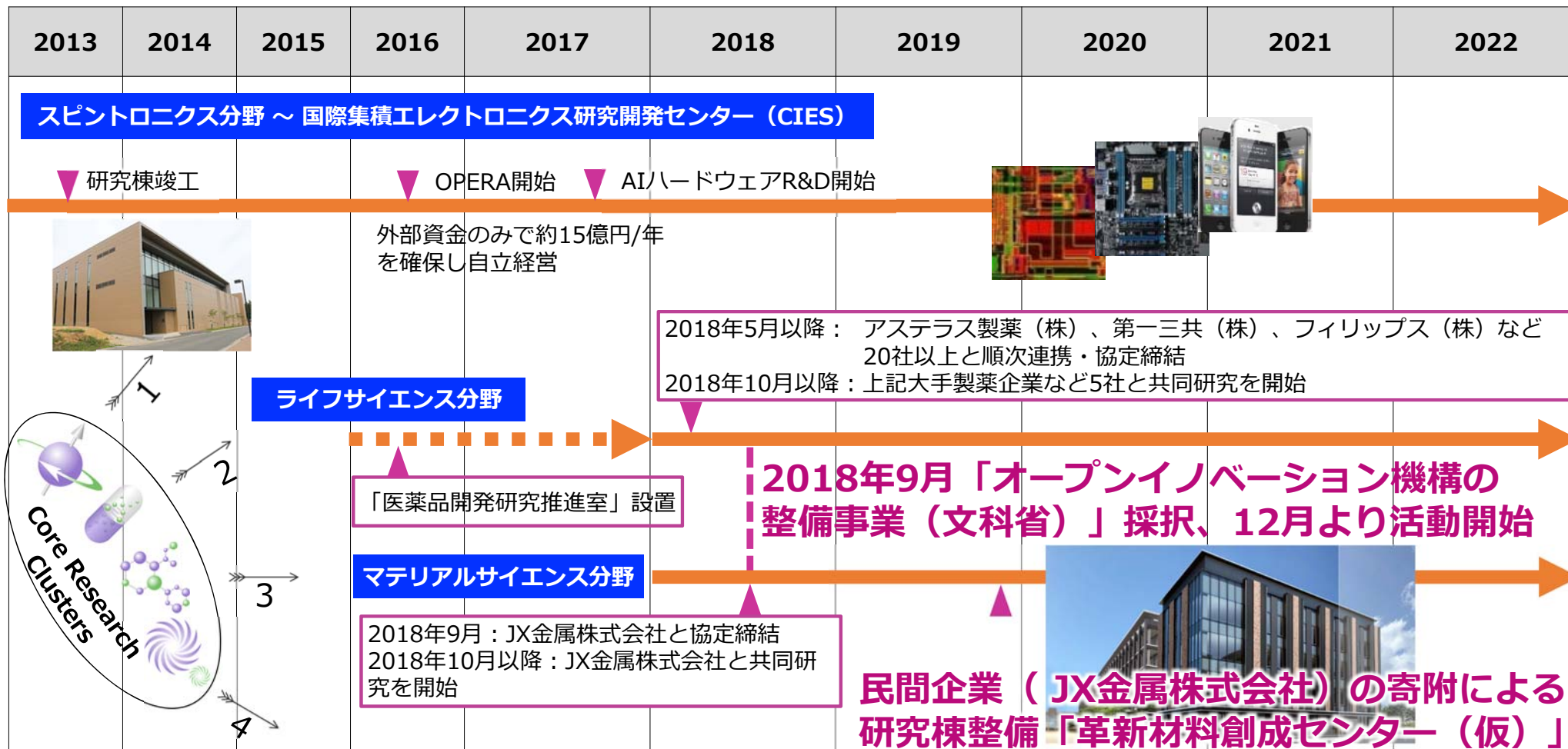
人事・人材育成
クリエイティブ・
マネージャー

薬事
クリエイティブ・
マネージャー

インキュベーション
クリエイティブ・
マネージャー



CIESが培ってきた大学を核としたB-U-B型連携モデルを他の複数分野に展開し、自立型オープンイノベーション拠点を形成



以上のほか、量子コンピューティング、人工知能（AI）などの分野、さらには、次世代放射光施設を活用した戦略的オープンイノベーションを展開

- CIESモデルの自立型オープンイノベーション拠点（15億円規模）を6拠点創設
- 大学全体の産学連携収入を5倍規模（165億円規模）に拡大（2030年目標）



Vision 3 社会との共創（Co-Creation）

社会とともにある大学として、多様なセクターとのパートナーシップのもと、新たな社会価値を創造し、未来を拓く変革を先導します

Vision 3 – 1 産学共創

Vision 3 – 2 社会連携

Vision 3 – 2 社会連携

重点戦略	主要施策
重点戦略⑫ 「社会とともにある大学」としての社会連携の強化	37. 「東北大学オープンカレッジ（仮称）」を中心とした知識基盤社会における新たな社会連携の確立 38. 知の波及を可能にする地域や世界に開かれた交流の場の提供 39. 校友ネットワークを核とした活力ある東北大学コミュニティの形成 40. 東北大学ブランドを高めるための戦略的広報の強化
重点戦略⑬ 「門戸開放」の理念に基づくダイバーシティ＆インクルージョンの推進	41. ダイバーシティ＆インクルージョンを尊重する「共同参画」体制の構築
重点戦略⑭ 震災復興から持続可能な社会創造を見据えた新たな課題解決型研究の展開	42. 東北大学復興アクションの着実な遂行と災害復興新生研究機構プロジェクトの再編・展開 43. 国内外の市民社会、教育機関、産業界、行政機関等との連携による被災地域復興への貢献 44. 国内外への積極的な復興活動・成果の発信 45. 持続可能な社会の実現に向けた課題解決型プロジェクト「社会にインパクトある研究」の推進



社会で活躍する卒業生や市民が生涯にわたり学び、学習を続けていくための機会を提供する「東北大学オープンカレッジ（仮称）」を創設（以下は基盤となる取組例）

地域イノベーションプロデューサー塾（RIPS）

- 地域企業の経営人材を対象に、革新的なイノベーションによる新事業の開発を促進し、地域における新たな雇用機会の創出と産業振興に貢献できる革新的プロデューサーを育成



RIPS卒業生

2012年度 11名	2015年度 26名
2013年度 35名	2016年度 41名
2014年度 29名	2017年度 33名

6期で175名が卒業

地域イノベーションアドバイザー塾（RIAS）

- 地域企業の経営者の目線で事業革新を支援するパートナーとなるため、企業経営と事業革新に関する体系的な知識や支援に必要な実践的なスキルなどを学習する機会を提供



RIAS卒業生

2015年度 25名
2016年度 32名
2017年度 28名

3期で85名が卒業



第2回世界防災フォーラム（WBF）

- 2019年11月9日～12日にかけて、仙台で開催することを正式決定
(2018年11月25日付公式発表)
- 「仙台防災枠組 2015-2030」による防災戦略などを協議



仙台で開催する第2回WBFの成功を期し、握手する（左から）今村教授、アマン代表、小野教授

東北大学SDGs シンポジウム

- 2018年12月21日（金）に、仙台で開催することを正式決定
- SDGsの達成に向けて、日本として、政府として、あるいは大学、地域、企業、市民として何ができるか、とりわけ、災害の経験も踏まえ、世界にどのような発信ができるか、それぞれの立場から議論



国谷 裕子 くによ ひろこ

キャスター、東京藝術大学理事 / 慶応義塾大学特任教授
米ブラウン大学卒。NHK 衛星放送「ワールドニュース」のキャスターを経て、1993年から2016年までNHK「クローズアップ現代」キャスター。現在、SDGsの取材・啓発活動を行なっている。自然エネルギー財団理事、国連食糧農業機関親善大使も務めている。02年菊池寛賞、11年日本記者クラブ賞受賞。著書に「キャスターという仕事」（岩波新書）。



「社会にインパクトある研究」の全学的推進

- A) 持続可能環境の実現（5）
- B) 健康長寿社会の実現（5）
- C) 安全安心の実現（4）
- D) 世界から敬愛される国づくり（5）
- E) しなやかで心豊かな未来創造（4）
- F) 生命と宇宙が拓く交換する未来へ（2）
- G) 社会の枢要に資する大学（5）

※（ ）内は、全学のプロジェクト数

「東北大学版SDGs活動」の推進・発展により、 持続可能な人類社会の創造に貢献



2030

東北大学版SDGs活動

2017.6

「指定国立大学法人」に指定

- ◆ 重要な社会課題の解決を目的とした分野横断・学際研究を展開
→ **社会にインパクトある研究**
- ◆ 復興・新生に向けた重点研究を推進
→ **東北大学復興アクション**

2017

2017.11 東北大学
「第1回世界防災フォーラム」
への参画

2015.9 国連

持続可能な開発目標SDGs
(Sustainable Development Goals)
17の目標を採択

2015.3 東北大学

「第3回国連世界防災会議」への参画

2015

2011.11 東北大学
「国連アカデミック・
インパクト」へ参加
原則9「持続可能性の
推進」支持を表明

2015.7

「社会にインパクトある研究」開始

- ◆ 7つの重点テーマ（A～G）を設定
- ◆ 全学体制で30プロジェクトを推進

発展

原点

2011.4

災害復興新生研究機構設置

- ◆ 8つの大型プロジェクトを推進
- ◆ 「東北大学復興アクション100+」を推進

2011

2011.3.11
東日本大震災発生

東北大学の教育研究基盤
社会に貢献する多様な分野

再生可能エネルギー

省エネ技術

森林保護

伝染病対策

海洋資源保護

ダイバーシティ

子供の教育

貧困・環境汚染・紛争対応

地球環境変動への対策

その他、多様な分野

第1版：2012.5
第2版：2012.10
第3版：2013.6
第4版：2014.7
第5版：2015.3
第6版：2016.7
第7版：2017.12



Vision 4 経営革新

卓越した教育研究を基盤として社会とともに成長する好循環の確立のため、大学経営を革新します

重点戦略	主要施策
重点戦略⑮ 社会に信頼され、力強く 社会価値を生み出す機動的 経営体制の確立	46. 大学のミッションを遂行するための多様かつ柔軟な人事システム改革の実行 47. 大学経営力強化のためのガバナンス改革 48. 人的リソースの最適配置による事務組織等の再構築および分析・支援ツールを活用した大胆な業務改革の実行 49. 多様な働き方の実現と適正な労働時間管理の実施 50. コンプライアンスを重視した経営の実践 51. 情報環境の最適化と情報セキュリティ強化
重点戦略⑯ 強固な財務基盤の確立	52. 外部資金獲得強化を大学全体のパフォーマンス向上に繋げる新たな学内配分システム等の確立 53. アセットマネジメントセンター等を活用した資産の有効活用の強化 54. 戦略的ファンドレイジングの展開と支援者とのネットワーク強化 55. 戦略的な産学共創による民間共同研究収入の拡大
重点戦略⑰ 戦略的な国際協働の深化	56. 世界から尊敬される三十傑大学としての国際協働の戦略的推進 57. セクションの壁を越えて全学一体となった包括的国際化の推進



重点戦略	主要施策
重点戦略⑱ 多様な価値観が交流する 社会に開かれたキャンパ スの整備	58. 国内最大規模のサイエンスパーク等を活用した社会共創の加速 59. ダイバーシティ & インクルージョンを尊重した先進的キャンパス環境の実現 60. 多様なステークホルダーにとって魅力あるアカデミックパークとしてのキャン パスの実現 61. 革新的な建物等整備手法による開かれたキャンパス整備
重点戦略⑲ 世界のライフイノベー ションや未来型医療を先 導する病院機能の強化	62. ライフサイエンス分野における戦略的産学共創の展開とIoT・AI・ビッグデー タを活用した新規医療イノベーションの創出 63. 未来型医療を牽引するグローバル・ハブとしての病院機能強化 64. 強固で安定した経営基盤の確立と安全で高度な最先端医療の提供 65. 患者にとって安心・安全で利便性の高い病院環境の整備 66. 医療の高度化や働き方改革など様々な社会の要請に応える病院運営と人材戦略 の展開



リサーチプロフェッサー制度

(H23年度から開始)

本学の教授のうち、その専門分野において高い研究業績を有し、かつ、一定額（年間1億円）以上の外部資金獲得が見込まれる者又は一定額（年間1億円）以上の資金が措置される特定プロジェクトにおいて中心的な役割を担う者 **(平成29年度在籍6名：年俸1,200万円を下限)**

ディスティングイッシュトプロフェッサー制度

(H19年度から開始)

本学の教授で、本学在職中にノーベル賞、フィールズ賞等ノーベル賞に準ずる国際的な賞、日本学士院賞等を受賞した者 **(平成29年度在籍5名：年間300～800万円を付与)**

特別招聘プロフェッサー制度

(H27年度から開始)

本学の教授として雇用するノーベル賞、フィールズ賞、文化勲章等の受賞歴がある国際的に著名な研究者 **(平成28年度1名：給与上のインセンティブとして、本部より年間最大400万円を措置)**

クロスアポイントメント制度

(H26年度から開始)

本学の教員又は他機関の職員が、本学及び他機関それぞれにおいて身分を有して教育研究活動を行うことにより、双方の機関の教育研究基盤の一層の強化を図る。
(平成29年度実績17名：理化学研究所、科学技術振興機構、産業技術総合研究所、他国立大学等と実施)

64歳以上の教員の業務見直しと給与水準の適正化

(H22年度から開始)

64歳以上の教員に関する業務の見直しを行い、全学にかかわる管理運営業務には原則携わらないものとし、期末・勤勉手当を支給しないこととした（給与水準の適正化）。
(1人あたり300万程度の給与減額)

これまで毎年、100名程度の若手研究者雇用財源を確保



現状

総長選考方式

- ・学内選挙を廃止
- ・学外の有識者も含めた総長選考会議による決定

理事・部局長の 評価

達成目標を明示した
評価の導入
(勤勉手当に反映)

全学機構改革

40組織を9機構に
再編・統合

総長裁量経費

国立大学最大規模
(2018年：65億円)

教員ポストの 再配置

総長のリーダーシップ
による部局間の異動
を実施

2030年に向けて

東北大学版プロボストを設置 (2018年4月設置)

全学的な教学における重点施策や戦略的教員人事に関する一定の予算配分権及び執行権を付与

自己収入強化による総長裁量経費財源の拡大

間接経費の増加などを通じて総長裁量経費の拡大 (120億円：2倍) を目指す

寄附金収入の拡大

年間 **120** 億円：3倍

戦略的な産学連携による
民間共同研究費収入の拡大

年間 **165** 億円：5倍

保有資産（現金・不動産・研究用
機器）の優位性を活用した
資産運用等収入の拡大

年間 **20** 億円：10倍



アセットマネジメントセンター

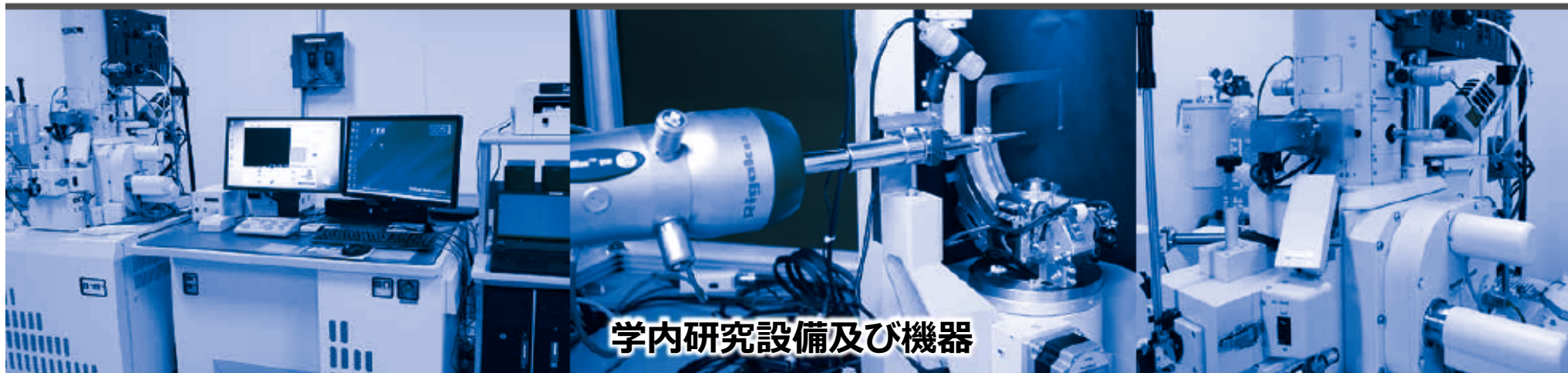
供用可能スペース・クリーンルーム等を一元管理

ユーザー・管理運営サイド双方が利益を得られる関係を構築

- ✓ 国立大学最大の供用可能スペース（145,767㎡）等の貸出
- ✓ 国立大学屈指の研究設備及び機器の利用マネジメント（テクニカルサポートセンター（TSC））
- ✓ 青葉山新キャンパスサイエンスパークゾーン（4万㎡）への大型産学連携研究拠点の整備（企業誘致）

資産運用等収入の10倍増

2億円（2017）→20億円（2030）





THE世界大学ランキング

The Times Higher Education World University Rankings 2018-2019

国内

3位

世界

251-300位



QS世界大学ランキング

QS World University Rankings 2018-2019

国内

5位

世界

77位

QS World University Rankings by Subject (published 2018)

Materials Sciences	23位	Engineering - Mechanical	30位
Physics & Astronomy	35位	Engineering - Chemical	46位
Languages	51-100位	Engineering - Civil & Structural	51-100位
Engineering - Electrical & Electronic	51-100位	Pharmacy	51-100位
Chemistry	51-100位		



Nature Index 2018

国内

4位

世界

66位



The World's Most Innovative Universities 2018

国内

4位

世界

36位



Nature Index 2018 Top 200 science cities

国内

5位

世界

90位



ライフサイエンス分野は民間共同研究費が年率28%で急伸長し、ナノテク材料分野（全体の3割）に匹敵する分野に成長。ライフサイエンス分野における産学共創拠点を創造し、国内最大級のアンダーワンループ開発体制を確立する（ライフサイエンス研究統括の設置）。



アンダーワンループ型 産学共創拠点（星陵）

創生応用医学研究センター

薬学・医工学・工学研究科等の
サテライト研究室や、製薬企業
等の研究拠点を誘致するための
施設整備を実施



東北メディカル・ メガバンク機構

- 世界初の7万人規模の三世代コホート調査
- 日本最大の15万人規模の住民コホート調査
- 世界でも有数の複合バイオバンクを構築
- 未来型医療の最先端研究の推進へ

スマートエイジング 国際共同研究センター

加齢医学研究所

国立大学で唯一、
加齢医学研究を標榜
する附置研究所

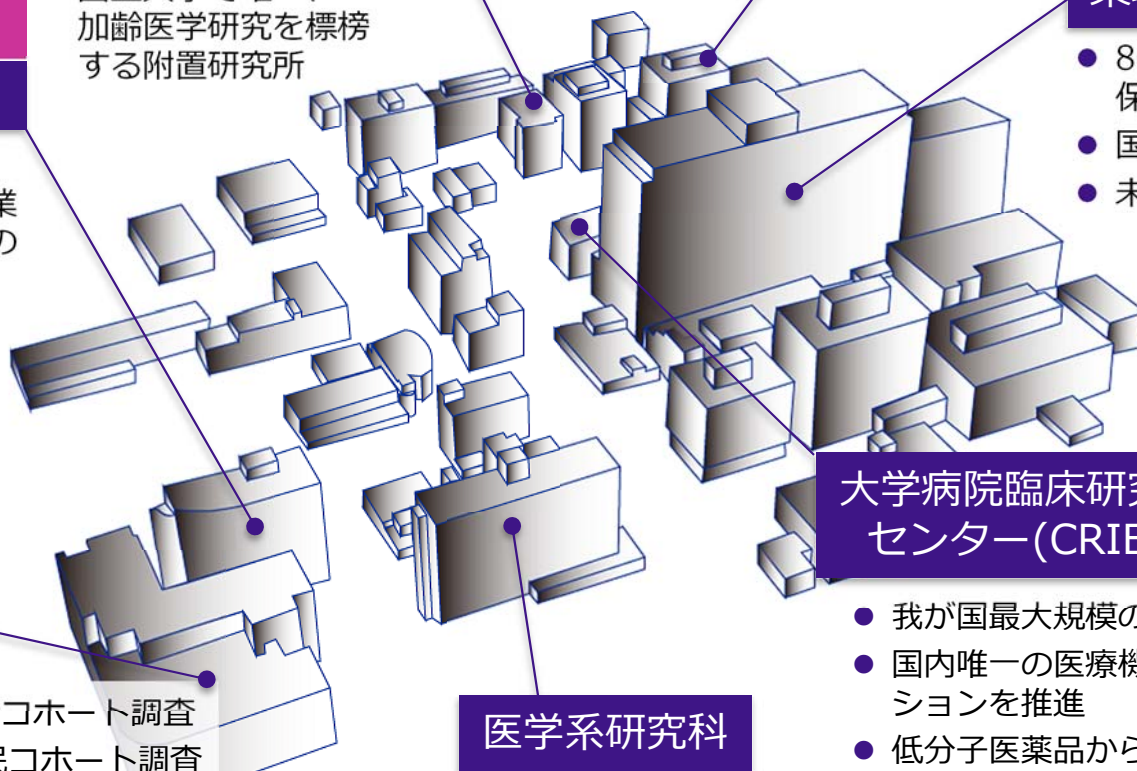


歯学研究科



東北大学病院

- 80万人の臨床データを保有する臨床研究中核病院
- 国内最大規模の病床数
- 未来型医療の臨床応用へ



大学病院臨床研究推進 センター(CRIETO)

- 我が国最大規模の橋渡し研究拠点（140人体制）
- 国内唯一の医療機器開発のオープンイノベーションを推進
- 低分子医薬品からバイオ医薬品までの幅広いR&D、産学連携を推進
- クリニカルイマーゴンの実践
- 未来型医療の社会実装へ

医学系研究科



**東北大学は、創造と変革を先導
する大学として、ここに掲げる
取組を確実に実行することによ
り教育・研究・社会との共創の
好循環を実現し、未来へ向けた
社会変革を力強く先導します**

